

第3章 課題の整理

3-1 分野別の課題の抽出

3-1-1 社会動向にかかわる課題

- 本町の人口は、減少傾向が続いています。
- 町全体の年少人口・生産年齢人口は減少、老年人口は増加傾向にあり、高齢化率は県平均を上回っています。
- 人口は用途地域内を中心に集積しており、用途地域外では県道橋向五戸線、五戸川周辺などに集積がみられます。
- 将来的には用途地域内においても人口減少が見込まれています。

【社会動向にかかわる課題】

■人口減少、少子高齢化の現状を見据えたまちづくり

- ・市街地を維持するための適正な人口密度を確保していく必要があります。
- ・少子高齢化、生産年齢人口の減少を見据え、高齢者や子育て世代の暮らしを支援するまちづくりを進めていく必要があります。
- ・さらなる少子高齢化を見据えた都市機能の適正誘導を図っていく必要があります。
- ・市街地周辺の集落地の生活環境・地域コミュニティを維持していく必要があります。
- ・高齢化の進展に伴い、高齢者の生活を支援するまちづくりを進めていく必要があります。

3-1-2 まちづくり・土地利用にかかわる課題

- 公共施設などの日常生活の利便性に寄与する都市機能施設は、用途地域内の県道橋向五戸線、県道五戸六戸線周辺に集積しています。
- 都市機能施設の誘致圏を考慮した人口カバー率は、概ね50%前後となっています。
- 上位関連計画には、商店街の振興による地域経済の活性化の施策、定住・移住促進のための施策が位置づけられています。

【まちづくり・土地利用にかかわる課題】

■都市機能・生活利便施設が集積する中心地づくり

- ・中心地への住環境の整った住宅地を確保していく必要があります。
- ・既成市街地の中心地としての役割を維持するため、都市機能施設・サービスの低下を抑制していく必要があります。
- ・居住や生活利便性に寄与する施設の立地を適正に誘導し、中心地の賑わい・活力を創出していく必要があります。

■地域拠点の生活環境の維持・向上

- ・住み慣れた地域で暮らし続けられるように集落の生活環境を維持していく必要があります。

3-1-3 公共交通にかかわる課題

- 五戸町コミュニティバスの利用者数は減少傾向にあります。
- 用途地域内においてバス停徒歩圏域外となる地区が一部みられますが、バス停の人口カバー率は9割を超えています。
- 上位関連計画には、公共交通体系の構築、公共交通の維持・充実についての施策が位置づけられています。



【公共交通にかかわる課題】

■公共交通網の維持、ネットワークの再構築

- ・利用者ニーズの変化に対応した公共交通手段を確保していく必要があります。
- ・人口集積地における公共交通利用圏域外の解消などに対応するよう、バス路線の見直し等を検討していく必要があります。
- ・中心地及び鉄道駅、主要な都市機能施設と、周辺集落地を効率的にネットワークする公共交通網を形成する必要があります。

3-1-4 防災にかかわる課題

- 用途地域内に土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域が一部指定されています。
- 用途地域の一部に、五戸川の浸水想定区域が指定されています。
- 上位関連計画には、土砂災害を未然に防止するための治水対策の施策が位置づけられています。



【防災に係かかわる課題】

■災害リスクに対応する市街地づくり

- ・災害危険の想定される区域の居住のあり方を検討していく必要があります。
- ・安全性の高い市街地への適正な居住誘導と都市機能の配置を検討していく必要があります。

3-1-5 財政にかかわる課題

- 歳出のうち、高齢福祉や子育て支援などの事業を行う民生費が増加傾向にあります。
- 将来的に、建物系公共施設に対する普通建設事業費が不足すると見込まれています。
- 上位関連計画には、公共施設の長寿命化や複合化の方針が位置づけられています。



【財政にかかわる課題】

■公共サービスの維持と経費縮減

- ・公共施設等の維持・管理及び更新のあり方や、民間活力による行財政の軽減を検討していく必要があります。
- ・既存の町有財産遊休地や統廃合などによって発生する公共施設跡地の有効活用を検討していく必要があります。

3-1-6 農業にかかわる課題

- 基幹産業である農業は就業者の約2割を占めています。
- 農業地は主に用途地域外となっていますが、農村集落として地域を支えています。
- 近年は担い手不足の問題があり、地場産品を味わう場所が少ないです。



【農業にかかわる課題】

■商店街を中心とする中心地の再生

- ・農村を維持するため、中心地がにぎわっていく必要があります。
- ・地域商店街による地産地消の可能性を検討する必要があります。

3-2 策定協議会における意見の整理

【現状について】

現状分析・将来見通しを踏まえてどのようなことが五戸町の課題だと感じたか
(その他、普段感じていることなど)

○人口減少

- ・ 少子高齢化
- ・ 若者が帰ってこない
- ・ 若い人が歩いてない
- ・ 町外からの移住者、Uターンを含めて、より手厚い補助による人口流入策も必要

○産業・雇用

- ・ 仕事がない
- ・ 働く場所が少ない（学生さんのアルバイト先等）
- ・ 企業・事業者数が少ない
- ・ 子どもが働く場所（働きたいと思える仕事）がない
- ・ 企業が少ないので、若い人が定着しないし、それに付随して飲食店も増えない
- ・ 工業団地周辺の買い物が少し不便
- ・ 工業団地周辺には飲食店がどれだけあるのか、工業団地に勤務している人は何を食べているのか
- ・ 日中は五戸に通っている学生のほとんどが八戸市に在住
- ・ アルバイト先が五戸にない

○インフラ

- ・ 歩道が歩きにくい
- ・ 道路が狭い
- ・ シニアカーが歩道を走りにくい
- ・ 坂が多い

○商店街

- ・ 中心商店街の路上駐車が恐い
- ・ 閉店している店が多く寂しい
- ・ 大型店に人が集まり個人店に人がいない
- ・ 休日でも人通りが少ない
- ・ 商店が閉まるのが早い
- ・ 商店街の魅力不足
- ・ お店が少なくなってきた
- ・ 中心商店街を人が歩いていない
- ・ 商店街の歩道状況が良くない
- ・ 若者（跡継ぎ）が帰ってこない

- ・賑わい不足
- ・イベントでの人出が多いのに、駐車場が少なく不便だと思う
- ・商店街が今の場所に移動した経緯を知りたい
- ・大型の駐車場が少ない
- ・経済圏（文化圏）が分散しすぎ
- ・空き店舗の活用
- ・五戸病院と銀行との距離がある
- ・空き店舗が多い
- ・買い物が不便
- ・事業者としては若者をターゲットに店舗を出したとしても事業として成り立たない可能性が高い
- ・町主導で集積させることで、商業を含む市街化は可能ではないかと思う

○居場所

- ・人が集う場所が少ない
- ・何かをはじめたい若い人たちが相談できる場が少ない
- ・学生が集まれる場所がない（高校生も）
- ・住民が気軽に集える所が少ない
- ・人と人とのつながりを持つ場が少ない
- ・学生がいる町なのに、学生で集まれる（遊ぶ・食べる・語る）場所がない
- ・若い子が楽しめる場所がない

○移住・定住

- ・昼間人口の取り込み不足（定住・商業）
- ・移住・定住の魅力不足
- ・学校があるのに八戸市に住んでいる

○空き家

- ・空き家や空き店舗が目立つ
- ・空き家がボロボロすぎる
- ・商店街の空き家を何とかしたい
- ・中心商店街の空き家、シャッター街

○公共施設

- ・総合的な施設（子ども、高齢者、医療、福祉、仕事、子育て）
- ・五戸高校の閉校
- ・公共施設更新費用
- ・立派な図書館に利用者が少ない
- ・役場・病院・銀行への距離がありすぎる
- ・高校がなくなる
- ・図書館（みらいパーク）だけおしゃれだと思う。浮いている

- ・商店街の図書館（みらいパーク）の距離感について
 - ・町外の方は遠いと感じている
 - ・町内の方は、そう思わない。考えたことがない
- ・図書館（みらいパーク）に軽食でも良いので、飲食できる場所があれば良い
- ・図書館（みらいパーク）に子どものスペースがあるのにかかわらず、子どもが遊んでいたらうるさいと注意されたため、防音ガラスにするとか部屋を別にするとか考えてほしい
- ・目的の場所が集中していない

○医療・福祉

- ・小児科が少ない。小児科の救急で八戸に行くことが多い
- ・町内に総合病院があるが、町外の医院、総合病院へ通院する人も多い、難症例やがん治療を治療できる医師を確保できれば（例：八戸市民病院と田向エリア）
- ・健康寿命が短い
- ・高齢者にも住みよい町づくり
- ・町外の病院へ患者が流れる。専門の医療機関が少ない
- ・短命県と言われている
- ・高齢者が多いのに歩道が歩きにくい
- ・小児科、産婦人科への投資はとても重要

○PR、情報発信、ブランディング

- ・五戸町に「行かないと手に入らない」が少ない
- ・坂の町をうたっているのに、マラソンやロードサイクルレース等のイベントを行ったらどうか
- ・食（肉・酒）等良いものがたくさんあるので、もっとブランディングして町内外へ発信してほしい
- ・町外へのアピール不足
- ・五戸町にいけば「何が」ある、が無い
- ・ひばり野（サッカー場）に人が来ているがそのまま帰る
- ・求人情報が分かりにくい？届いてない？
- ・コレ！っていう何かが見えない
- ・五戸町のブランド PR 不足
- ・町の求人サイト（町 HP）が分かりにくい。探しにくい

○公共交通

- ・バスの運転手不足。職業的に魅力がない（大型二種免許）
- ・路線数が不足。利用者増につなげるためにも、バス停までの歩きやすさが必要
- ・歩道の整備
- ・免許返納しても暮らせる町
 - ・中央バス停
 - ・100円バス
- ・自動運転（将来）

- ・タクシー会社との連携も重要
- ・待合環境の整備も必要
- ・今年度役場で実施している町タクおでかけタクシーの効果が期待できる

○子育て

- ・子を産み育てるための費用を減らしたい
- ・子どもたちが遊べる集える場所
- ・子どもたちが行きたくなる（商業含む）施設がすくない
- ・雨の時に遊べる屋内施設がない
- ・休日等は親子で町外に買い物・レジャーに行く。
- ・子どもの価値観に対応できている店が少ない
- ・個人経営よりもチェーン店の新作を求める傾向にある。インスタ映えが重要

○その他

- ・楽しく過ごせる町にしたい
- ・冬が寒すぎる
- ・役場の人元気がない
- ・知らない人に冷たい
- ・他人を気にする人が多い。新しく引っ越してきた人のことを気にしている
- ・町の面積に対して、がけやのり面、坂道が多く人が住んだり働いたりできる場所が少ない
- ・五戸高校の跡地活用方法
- ・商店街の近くに大きな駐車場
- ・土地の所在が分かれているので開発しにくい
- ・どうすれば五戸町に住もうと思うのか？
- ・病院や店舗の参入のための支援制度がない？
- ・「街」が利用しづらい（利用していない）
- ・魅力が不足
- ・自家用車や歩行者を考えると、道路や駐車場、歩道の整備も必要
- ・労働したい人には労働できる環境を、労働しない時間帯は生活の充実度を提供できる環境が必要
- ・理想が詰め込まれた状態だと思うので、ここから優先順位や現実的にどこまでやれるのかを検討していく必要
- ・車で移動の方が多いことを考えれば、車道や車の運転環境についても何か方策を示しても良いのではないのか
- ・空き家、空き地の現状分析が必要
- ・シェアオフィスがあったら利用したい
- ・五戸町の人口を維持するためには、やはり定住するための住みよい町づくりが必要
- ・商業集約とPR方法について他の町の事例を参考にしてもいいかも
- ・空き家などハードの部分が関わるお金ですので、行政主導となって行ってもらおうと次につながると思う
- ・行政所有のビルにオフィスや居住施設を作っていないと田舎に人は来ないと思う

【目指すべき方向性・課題解決について】

- ①（現状）がどうなっていけば良いと思うか→（目指すべき方向性）
②また、そのためにはどうして行けばよいか →（課題解決）

- ・歩道を広げる（車道を無くす）〔インフラ・商店街〕
- ・道路を広げる〔インフラ・商店街〕
- ・毎日ホコ天〔インフラ・商店街〕
- ・一方通行にする〔インフラ・商店街〕
- ・商店街に車を通さなくて良いようにする〔インフラ・商店街〕
- ・電柱地下埋設・融雪〔インフラ・商店街〕
- ・道路を狭くして、歩道を広くする。道路をくねくねにする〔インフラ・商店街〕
- ・自動車は低速になり安心、歩行者はゆったり〔インフラ・商店街〕
- ・一部の道路を歩道化する〔インフラ・商店街〕
- ・番外地の埋め立て〔インフラ・商店街〕
- ・無人の路面電車的な循環する乗り物〔インフラ・商店街〕
- ・廃校の宿泊施設〔インフラ・商店街〕
- ・一泊できるような施設があれば・・・〔インフラ・商店街〕
- ・学生向けシェアハウスを街中につくる〔商店街・移住定住・居場所〕
- ・複合型マンション〔商店街・移住定住・居場所〕
- ・（若年層）人材育成に力を入れる〔子育て〕
- ・五戸高校の跡地を活用（企業誘致）（IT）〔産業・雇用・人口減少〕
- ・コワーキングスペース（若者が集まりやすいスペース）〔産業・雇用・居場所〕
- ・若者が働きたい会社を誘致〔産業・雇用・人口減少〕
- ・集約して駐車場を作る〔商店街・空き家〕
- ・コンパクトな町にして自動町バス〔公共交通〕
- ・馬肉専門店がすごく人気があるのを町外の人も認識している〔商店街・PR、情報発信、ブランディング〕
- ・馬肉専門店を中心に据えて（古い建物なので移転）その周りの商店街に気づければ、その店に立ち寄る可能性が上がるのではないかと〔商店街〕
- ・目的の場所を集中させるとバスの在り方も変わる〔公共施設・公共交通〕
- ・スーパーマーケットがバスを出している例もある〔公共交通〕
- ・「空き家サブスク」を町が運営等〔空き家・商店街〕
- ・小中学校の建物の統合〔公共施設〕
- ・（小中）学生に地域の課題を考える場を提供する〔子育て〕
- ・人の集まることができる、場所、場面をつくる〔居場所〕
- ・新規企業への税制優遇（法人税や固定資産税）〔産業・雇用〕
- ・特色のある移住施策（自伐型林業とか）〔移住定住〕
- ・農業の大規模化〔産業・雇用〕
- ・馬の乗れる所、馬で散歩、乗馬する場所〔PR、情報発信、ブランディング〕

- ・カーシェアリング〔公共交通〕
- ・医学部へ行く奨学金を受けた学生に3年間の五戸病院の勤務義務（奨学金を返さなくて良い）〔医療・福祉〕
- ・IT誘致を本気で〔産業・雇用〕
- ・町の日玉 桜なべもあるから五戸川を桜でうめる〔PR、情報発信、ブランディング〕
- ・北インターとか工業団地、町の境の方にも目を向けて、すごく需要がある〔産業・雇用、移住定住〕

【中心商店街エリアの役割】

（課題解決）のために中心商店街・歴史みらいパークエリアはどのような機能を備えたエリアであれば良いか

- ・買い物の際の使い分け 大：八戸・十和田 小：商店街
- ・金融機関をまとめる
- ・住民票等をとれる公共施設
- ・倉石牛を食べられる店
- ・マンション、賃貸オフィス、商店街に入るビルを建てて、既存の商店をそちらに誘導して、その間に、既存商店のエリアを行政が買う
- ・集まれる場所、フリースペース
- ・駐車スペース
- ・地場産品・産直
- ・公共交通の発着地
- ・ポケットパーク（緑地、広場、イベント）
- ・図書館にカフェスペース
- ・馬肉専門店移転
- ・ケーキ屋移転
- ・パン屋誘致
- ・役所移転
- ・メディカル校舎移転
- ・図書館をもっとカジュアルにする
- ・高校生や学生が来たい、来やすい何か
- ・図書館に情報を集める
- ・空き店舗チャレンジショップ（若い世代のチャレンジを町全体で応援する）
- ・ついでに～～が色々できる場所
- ・学生のバイト先になる店舗

まちづくりの方針（ターゲット）

- ・チャレンジしやすい町（応援できる町）
- ・健康に暮らせる町づくり
- ・高齢者施設（町内中心街）
- ・老人に特化した町づくり
- ・商店の種類のエリア分け
- ・そこに行けば何かある（「柱」となる店（1店舗だけでなく））
- ・景観重視⇒観光
- ・「らしさ」を残した町づくり
- ・若者が住み続けられる町
- ・スポーツで健康長寿を目指す
- ・スポーツと健康の街をコンセプトにする
- ・高齢者、若者、子どもの共生

3-3 解決すべき課題の抽出

これまでの現況分析及び課題の整理を踏まえ、本計画において解決すべき課題を整理します。

